

【交流会】

練習後には、関西大学バスケットボール部の部員や関西大学附属北陽高等学校の生徒、キッズとの交流の場を設けていただきました。食事を共にしながら意見交換や励ましをいただき、選手にとって貴重な時間となりました。また、この交流を通じて代表選手が関西大学附属北陽高等学校の生徒たちから教わった聴覚障がい者のための SOS カードの魅力を知っていただくことができ、理解促進にもつながりました。

・ 交流の様子「食事を共にしながら意見交換する場面」



【総括】

東京 2025 デフリンピックまで残り 3 か月となりました。選手・スタッフ一同、今回の合宿で得た経験を糧に、一層気を引き締めて更なる向上に努めてまいります。また、関西大学北陽高等学校の生徒たちが考案した聴覚障がい者向けの SOS カードは非常に素晴らしいものであり、近い将来、聴覚障がい者の命を守る大切なツールとなると感じております。デフバスケットボールや東京 2025 デフリンピックをきっかけに、この SOS カードを広めていきたいと考えております。

最後に、今回の合宿にご協力くださいました関西大学ならびにファンタジスタの選手・関係者の皆さま、そして日頃より温かいご支援を賜っている OB・OG をはじめ、多くの皆さまに心より感謝申し上げます。引き続き、デフバスケットボール男子日本代表へのご支援・ご声援をよろしくお願いいたします。

・ 試合後の集合写真「課題と成長を感じた大阪合宿」



(文責 石川 友正)